

令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス)									
学年	2	学科	全学科	単位	1	教科	保健体育	科目	保健
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「現代高等保健体育」大修館書店 ・「現代高等保健体育ノート」大修館書店 								
学習目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	単元3 生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・思春期における女性、男性の体の変化や心の発達にかかわって起こる問題を理解する。 ・性意識の男女差について理解する。 ・妊娠・出産の過程における健康問題や妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。 ・家族計画の意義と適切な避妊法や人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。 ・心身の発達と結婚生活の関係や結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について理解する。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解する。 					
2 学期	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 単元4 健康を支える環境づくり ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 ・大気汚染と健康			<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と健康とのかかわりや働き方や働く人の健康問題の変化について理解する。 ・労働災害の種類とその原因や労働災害を防止するために必要なことについて理解する。 ・職場が行う健康に関する取り組みについて理解する。 ・保健行政の役割や保健サービスの活用について理解する。 ・わが国における医療保険の仕組みや様々な医療機関の役割について理解する。 ・医薬品の正しい使用法や医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。 ・国際機関・民間機関などの保健活動や行政機関による社会的対策について理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりや環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることに理解する。 ・大気汚染の原因と健康への影響や大気にかかわる地球規模の健康問題について理解する。 					
3 学期	・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動			<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響や大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて理解する。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法や産業廃棄物の処理について理解する。 ・ごみの処理の現状やその課題や上下水道の仕組みと健康にかかわる課題について理解する。 ・食品の安全性と健康とのかかわりや食品の安全性に関する今日的課題について理解する。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割や食品の安全性を確保するための個人の役割について理解する。 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関する基本的事項を理解する。				○	○	○	
②	思考・判断・表現	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについて、自分の生活と照らし合わせた解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				○	○	○	
評価方法	①			②			③		
	㊦ 定期考査	㊧ 副教材	㊨ 実技テスト	㊦ 定期考査	㊧ 副教材	㊨ グループワーク等	㊦ 定期考査	㊧ 副教材	㊨ グループワーク等